

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月17日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|-----------------------------------|-------|-------------|
| 事業所番号 | 0972400196 | | |
| 法人名 | 有限会社ティアンドエス | | |
| 事業所名 | グループホーム青い空 | | |
| 所在地 | 栃木県佐野市山形町296 (電話) 0283-65-0017 | | |
| 評価機関名 | 社会福祉法人栃木県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 栃木県宇都宮市若草1-10-6 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年11月12日 | 評価確定日 | 平成21年12月17日 |

【情報提供票より】 (平成21年10月5日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------|-----------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成13年10月1日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 10 人 | 常勤8人, 非常勤2人, 常勤換算8.9人 | |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|-----------|--|--|
| 建物構造 | 木造 | | |
| | 1階建ての1階部分 | | |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|-------------|----------------|-----------------------------|-------|
| 家賃(平均月額) | 55,000 円 | その他の経費(月額) | ・水道光熱費—13,000円 ・個人消耗品—実費 | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(100,000円) | 有りの場合 償却の有無 | 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 380 円 | 昼食 | 380 円 |
| | 夕食 | 380 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4) 利用者の概要(平成21年10月5日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 8 名 | 男性 | 名 | 女性 | 8 名 |
| 要介護1 | 1 名 | 要介護2 | 1 名 | | |
| 要介護3 | 2 名 | 要介護4 | 名 | | |
| 要介護5 | 4 名 | 要支援2 | 名 | | |
| 年齢 | 平均 85.8 歳 | 最低 | 70 歳 | 最高 | 93 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|------------------|
| 協力医療機関名 | 相田婦人科内科医院、佐野市民病院 |
|---------|------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは旧田沼町の旧道道路から少し入った、里山や竹林に囲まれた小高い場所にあり、常に季節を感じられる自然豊かな場所に立地している。管理者及び全職員は「常に入居者一人ひとりが普通に暮らすこと」を大切にしており、入居者の求めることは何なのか、普通の家での暮らしとは何かを常に考えながら、入居者に寄り添ったケアの実践を心がけている。管理者を中心に職員間のチームワークも良く、入居者への支援や質の向上に繋がっており、熱い思いと丁寧な関わりを持った暖かい雰囲気のある家庭的なホームである。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 管理者、職員も外部評価についての意義を理解しており、外部評価結果の取り組みを期待したい内容については、職員間での話し合いや運営推進会議等で検討を行うなど、前向きに改善に向けて取り組んでいる。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 今回の自己評価については、全職員が項目毎に手分けをして実施し、管理者がまとめた。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 運営推進会議は2ヶ月に1回開催されており、入居者、入居者家族、地域の住民でもある市議会議員、市職員等で構成されている。会議では、ホームの運営状況や入居者へのサービス提供等の事業実施状況についての報告を行いながら、意見や要望を出してもらい、サービスの向上に活かしている。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 家族からの意見や要望は、毎月の利用料の支払い時や運営推進会議等において表わせる機会を設けている他、管理者は家族が気軽にホームに来所して意見や要望が出しやすい雰囲気作りに努めている。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 自治会に加入しており、回覧板の回覧や地域の清掃活動等の地域の行事には積極的に参加をしている。また、ホーム主催の納涼祭には、多数の地域住民が子どもや孫を連れて来所しており、地域との相互交流に努めている。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 入居者が最期まで元気で楽しくゆとりのある暮らしが地域の中で継続していくことを考え「地域に密着し、地域に生まれ、地域に貢献できる事業になること等」を基本理念を掲げており、地域の中でより良いサービスが提供できるよう日々取り組んでいる。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 毎月行われている全職員による会議の中で理念の確認を行っており、職員との話し合いにおいて、理念の実践及び入居者本位のサービスの質の向上にむけて、ホーム全体で取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会に加入しており、回覧板の回覧や地域の清掃活動等の地域の行事には積極的に参加をしている。また、ホーム主催の納涼祭には、多数の地域住民が子どもや孫を連れて来所しており、地域との相互交流に努めている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 管理者、職員も外部評価についての意義を理解しており、外部評価結果の取り組みを期待したい内容については、職員間での話し合いや運営推進会議等で検討を行うなど、前向きに改善に向けて取り組んでいる。今回の自己評価については、全職員が項目毎に手分けをして実施し、管理者がまとめた。 | | |

グループホーム青い空

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|----------------------|--|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は2ヶ月に1回開催されており、入居者、入居者家族、地域の住民でもある市議会議員、市職員等で構成されている。会議では、ホームの運営状況や入居者へのサービス提供等の事業実施状況についての報告を行い、意見や要望を出してもらい、サービスの向上に活かしている。 | ○ | 地域の理解や支援を更に得るためにも地域の民生委員や消防団等にも運営推進会議に参加を呼びかける等、運営推進会議が更に活発な意見交換の場となり、ホームにおけるサービス向上に繋がることに期待したい。 |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市担当職員との関わりは、運営推進会議の参加と介護保険更新時に限られており、行き来する機会や市とともにサービスの質の向上には取り組めていない。 | ○ | 現在、市担当職員との関係は必要最低限であるが、ホーム側から市に対して積極的にホームの現状や課題等について意見具申を行い、ホームへの理解を深めてもらう等、関係構築に向けた取り組みに期待したい。また、地域包括支援センターとも連携を図り関係構築に向けた取り組みに期待したい。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 家族が定期的にホームに来所してもらう事を考え、毎月の利用料の支払いは持参してもらっており、その時に入居者の健康状態等を報告している。また、ホームの広報誌「青い空だより」を毎月発行しており、その中で入居者個人毎に担当職員から行事・生活・健康面についての報告を送付している。金銭管理については、定期的に金銭管理出納帳を家族に確認してもらっている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族からの意見や要望は、毎月の利用料の支払い時や運営推進会議等において表わせる機会を設けている他、管理者は家族が気軽にホームに来所して意見や要望が出しやすい雰囲気作りに努めている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | ここ1年半については、離職者は出ていない。管理者は、職員が働きやすくやり甲斐のある職場づくりに取り組んでおり、離職者を最小限に留めるよう努めている。離職者が出た場合は、後任の職員を速やかに入居者・家族に紹介を行い、入居者に影響が出ないように配慮している。 | | |

グループホーム 青い空

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|----------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部研修については、職員の希望も取り入れて職員全員が交替で参加できるように配慮しており、職員の意欲を引き出している。内部研修では、嚆下についての研修も実施している他、管理者や職員間で処遇面での気付いた点について、その都度、伝え合うようにしている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 全国のグループホーム協会には加入しているが、県のグループホーム協会の加入については、現在検討中である。地域の同業者との交流は、設置形態の似ているグループホームとの交流を行っており、情報交換や相互訪問を実施している。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ホームの入居にあたっては、本人や家族の要望を聞くと共にホームについての説明を行い、了解してもらったうえで入居に至っている。入居当初は職員の見守りにより、入居者がホームの雰囲気に徐々に馴染み、安心した暮らしが出来るように支援をしている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員会議等で様々なレクリエーションを企画しており、習字やリズム体操、生け花、ゲーム等を取り入れながら入居者と職員が共に過ごす時間を大切にしている。職員は、入居者からの傾聴を常に心がけ、入居者から学ぶ関係や支えあう関係を築いている。 | | |

グループホーム 青い空

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 職員は入居者とのなじみの関係において、入居者の思いを把握している。意向の表出が困難な入居者には、家族から今までの生活歴や職員の見守りにより意向や思いの把握に努めている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 介護計画の作成にあたっては、ケース会議や毎月の職員会議で入居者の状態等の話し合いを行い、家族の要望等も含めて介護計画を作成している。介護計画では、入居者が元気で病気にならず、快適に暮らせる事に努めている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 入居者の日々の様子を個人記録等に毎日記録しており、状態に変化があった場合には、家族にも相談して介護計画の見直しを行っている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 入居者や家族の要望には、できるかぎり柔軟に支援している。 | | |

グループホーム 青い空


| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|----------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人、家族の了解の下、ホーム協力医をかかりつけ医にしてもらっている。入居者の毎日の生活状況を伝え、適切な医療が受けられるよう支援している。家族の希望で入居前の医療機関をかかりつけ医としている入居者もおおり、その場合の通院は家族に対応をお願いしている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 協力医はホームにおける看取りには協力的であり、往診も含め24時間の対応が可能であり、何人も入居者の看取りを行っている。また、本人、家族の要望や意向を確認し、重度化した場合のホームの方針を職員会議等で話し合い、全職員がホームの方針を共有している。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 入居者一人ひとりの尊厳やプライバシーの確保には力をいれており、入居者に対する禁止用語を事務室に掲げている他、入居者の気持ちを大切に呼びかけに配慮している。職員間においても、接遇や声かけにおいて気付いた点はお互いに注意し合っている。入居者の記録等の個人情報の書類などは、事務室内において適切に管理されている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な1日の流れはあるが、入居者の希望や体調等を考慮した一人ひとりに対応した支援をおこなっている。また、規則正しい生活を送ってもらうために、レクリエーションへの参加の呼びかけ等を通してメリハリある生活が送れるよう支援している。 | | |

グループホーム青い空

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|--|----------------------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 職員が1ヶ月交代で献立を立て、ホーム内のオープンキッチンで職員が調理をしている。職員も入居者の介助を行いながら同じものを一緒に食べている。配膳や後片付けを行う入居者もいる。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴は週3回、月・水・金曜日が入浴日となっている。入居者の体調等により入浴する順番を変えながら、入浴剤を用いて楽しめる入浴時間を支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 職員間で当番を決め、それぞれにレストランや食堂に出かけたり、散歩に出かけたり、出来る人には掃除をしてもらったりと入居者の気分転換を図れるよう支援している。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 入居者の高齢化、重度化に伴いADLの低下が見られるようになり外出の機会は減ってきたが、定期的にホームの庭にてお茶会を開いている。今まで行っていた一泊旅行も上記の理由から今年中止とした。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 管理者及び職員は鍵をかけないケアに取り組んでいる。訪問時には、新しい入居者の徘徊がひどく、近くに幹線道路もあり、入居者の安全性を考慮し、玄関は施錠されていた。 | ○ | 入居者の安全には十分配慮のうえ、入居者の行動及び外出傾向の把握に努め、職員の見守りにより、今後も鍵をかけないケアの実践に向けた取り組みに期待したい。 |

グループホーム青い空

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防訓練は、年2回、発煙筒を焚くなどして、通報訓練、避難訓練を実施している。有事の際には、自発的に地域住民からの協力が行われる関係づくりがなされている。 | ○ | 有事の際には、自発的に地域住民からの協力が行われる関係づくりがなされているが、地元の消防団や地域住民へ消防訓練への参加協力を依頼するなど、更にホームの防災能力を高めていくことに期待したい。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事の摂取は個別に記録している。水分は1日6回の提供を行い、夜間も水分の補給を行っている。体調の状態によってはスポーツドリンクやリカバリー等の液状総合栄養食を提供している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 食堂が共用居間となっており、大きな窓から周辺の里山の自然が望め、常に四季を感じられる。また、玄関や食堂等には、ホームの庭や周辺で採取したなじみの季節の花が飾られる等、家庭的な雰囲気づくりに配慮されている。共用空間には、不快な音や光、臭い等は無く、清掃が行き届いた快適な空間づくりがなされている。 | ○ | 明るく解放感があり居心地の良い居間ではあるが、入居者が更にリラックスできるようにソファ等の導入についての検討を期待したい。 |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には、本人が家族と相談して持ち込んだ箆笥、テレビ、椅子やソファ等の使い慣れた家具や写真や飾りもの等が置かれており、本人が居心地良く過ごせるよう、職員も家族等と共に支援している。 | | |

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。